



АИП
АССОЦИАЦИЯ
ИНДУСТРИАЛЬНЫХ
ПАРКОВ

2018年度ロシア工業団地協会セミナー：
ロシアにおける日本企業の事業拡大のために ～生産の現地化と産業協力

ロシアにおける日本企業による現地生産プロジェクトの条件と見通し ～ ロシア工業団地協会とそのサポート体制 ～

2018年3月16日 於・東京(ニューオータニ東京)

ロシア工業団地協会
顧問(日本・アジア太平洋地区担当)

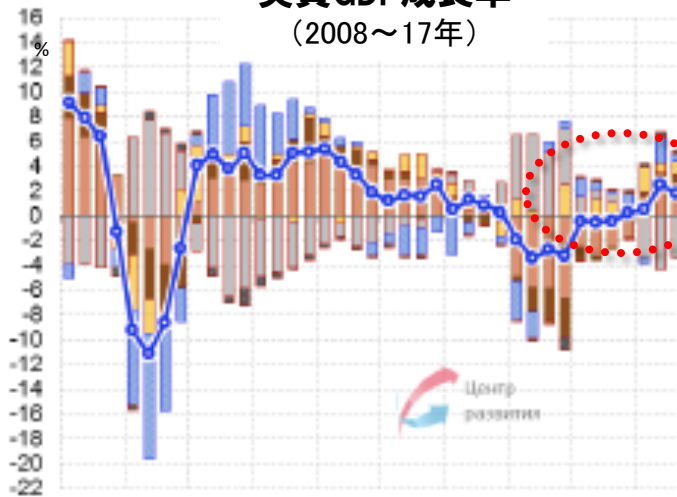
大橋 巖

117647 ロシア連邦モスクワ市プロフソユズナヤ通り125番地1号館
電話: +7 915 182 33 50
Email ohashi@indparks.ru



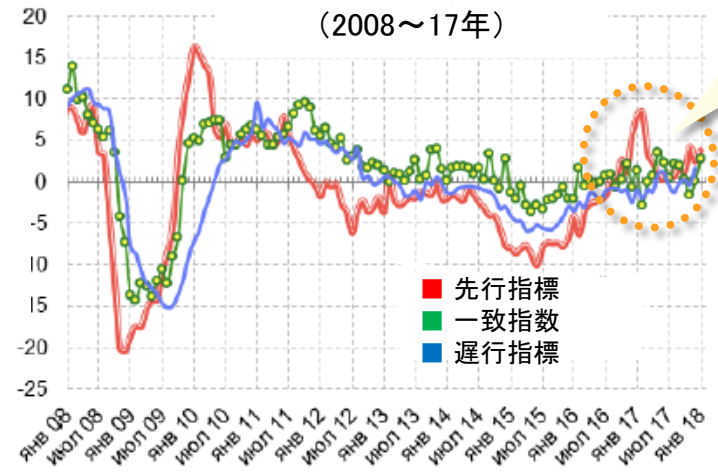
現下のロシアの経済情勢は、2015年以来のリセツションがようやく底入れしたものの、持続的な成長を実現するには資源輸出に替わる次の成長エンジンの構築が必要。

実質GDP成長率
(2008～17年)



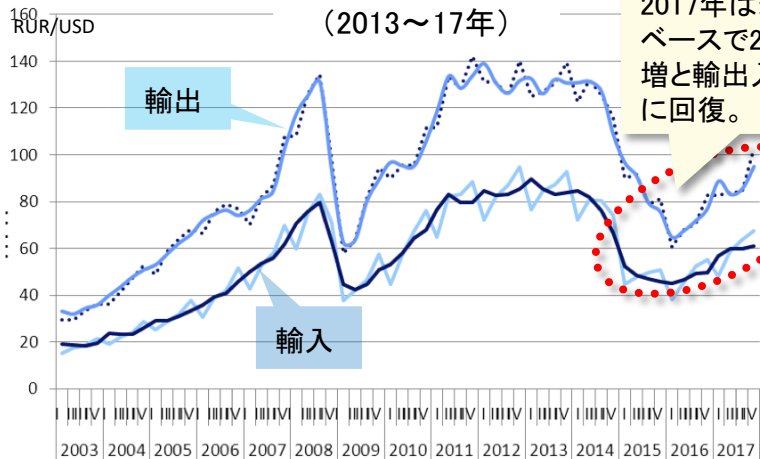
2016年第4四半期以降、完全にプラス成長へ回帰

景気動向指数の推移
(2008～17年)



2017年以降はCIがプラスに転じている。

輸出入の推移
(2013～17年)



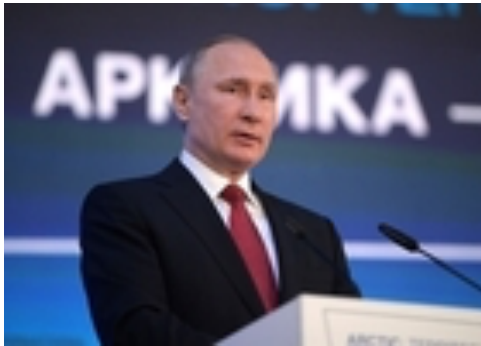
2017年は米ドルベースで25%、24%増と輸出入とも大幅に回復。

在露エコノミストのコンセンサスによる2024年までの成長見通し
(2018年2月公表)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
実質GDP	1.7	1.6	1.6	1.8	1.6	1.8	1.7
インフレ率	3.8	3.9	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1
基本政策金利	6.8	6.3	6.2	6.1	6.2	6.3	6.3
対米ドル為替レート	59.3	60.2	62.7	63.2	66.4	67.2	69.1
油価(米ドル/バレル)	60	59	59	60	59	60	60



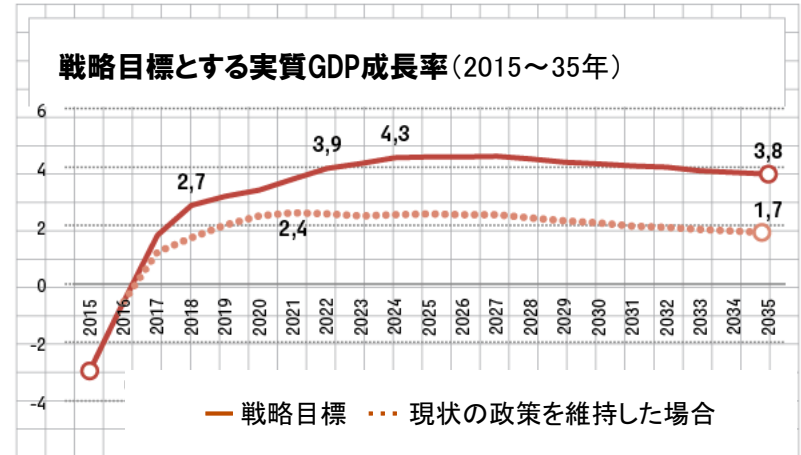
現在、大統領直轄で2025年に向けての国家経済発展戦略の策定プロセスにある。
2018年の大統領選後にインフラ開発、都市環境整備、デジタル経済化を柱に
新たな成長へのビジョンと道筋が打ち出される可能性がある。



プーチン大統領



戦略策定センターは、
堅実な財政・通貨政策により、
2025年までに4%超の
持続的成長を目指す発展戦略
シナリオを提言。



現職大統領任期:
2012年5月7日から6年間

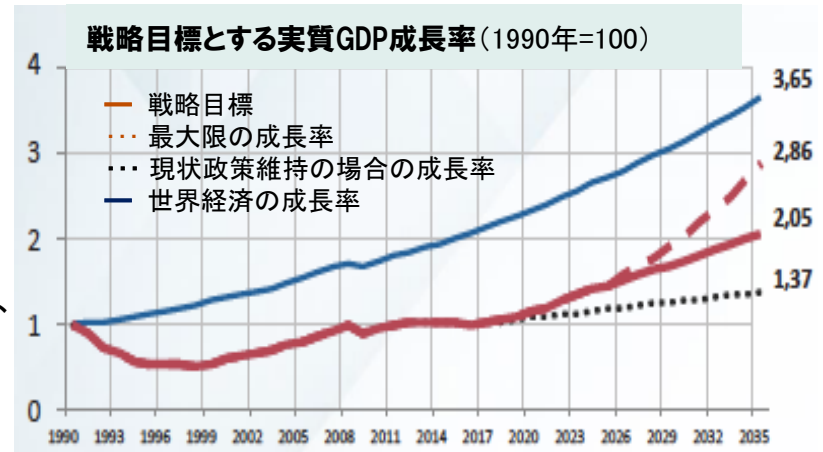
次期大統領選挙投票日:
2018年3月18日

次期大統領任期:
2018年5月7日(予定)から6年間



СТОЛЫПИНСКИЙ КЛУБ
ЭКСПЕРТНАЯ ПЛОЩАДКА РЫНОЧНИКОВ-РЕАЛИСТОВ

ストルイピン・クラブは、
積極的な財政・産業政策により、
2025年までに5~6%の
高成長を目指す発展戦略シナ
リオを提言。





ロシア新工業化戦略の一環が国内における工業団地ネットワークの整備である。
ロシアの企業立地環境は、「工業団地」の整備を軸に、着実な改善を遂げてきた。

I

沿海地方における木材加工
(住友商事)

ニジェゴロド州、モスクワ州
におけるガラス生産(AGC)

II

サンクトペテルブルク市にお
ける自動車組み立て(トヨタ)

ヤロスラヴリ州における
建機生産(コマツ)

III

ウリヤノフスク州における
自動車用安全装置生産
(タカタ)

リーペツク州における自動車用
タイヤ生産(横浜ゴム)



ロシア工業団地協会刊「ロシア工業団地便覧」(2017年版)によると、ロシア国内には111か所の工業団地が操業しており、さらに55か所の工業団地が整備途中にある。

ロシアにおける工業団地の展開(2017年)

欧露部



シベリア・極東



Russian Industrial Parks

● Operating
● Designed

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1. Phudrovskoye | 9. Technopolis Khimgrad | 17. SEZ Kozhko-Borovsk |
| 2. SEZ Lipetsk | 10. A Plus Park Pushkin | 18. Dni-Verovo |
| 3. Devo Cluster Noginsk | 11. Zavotshye | 19. Nizhnie Kotly |
| 4. Yuzhnyye Vorota | 12. Kabanovo | 20. Centre |
| 5. A Plus Park Alabuga | 13. Kirovsky | 21. Smart Park Ecmovo |
| 6. Kozansky Silicon | 14. Niagara | 22. Bogolevo |
| 7. RIP Master | 15. Ivantseva | 23. RIO-Industrial |
| 8. SEZ Alabuga | | |



- 操業している工業団地
- 整備途中の工業団地

2017年のデータ:

- 広義の工業用地 810か所
- 工業団地(操業中) 111か所
- 工業団地(整備中) 55か所
- 公営工業団地 75か所
- 民営工業団地 91か所



ロシアの工業団地・経済特区等に立地している主な日系企業の工場

日系企業	生産品目	地方	立地先	種類
古河電工	光ファイバー	ヴォロネジ州	マスロフスキー工業団地	公営工業団地
三菱自動車	乗用車	カルーガ州	ロスワエ工業団地	公営工業団地
SMC	真空機器	レニングラード州	グリーンステート工業団地	私営工業団地
横浜ゴム	乗用車用タイヤ	リーペツク州	リーペツク経済特区	連邦経済特区
YKK	衣料用ファスナー	モスクワ州	デガ・ノギンスク工業団地	私営工業団地
アークレイ	医療検査薬	モスクワ州	ドゥブナ経済特区	連邦経済特区
大同メタル	自動車用軸受	ニジェゴロド州	ZMZ工業団地	私営工業団地
マツダ	乗用車	沿海地方	ナジェジンスカヤ開発優先区	連邦開発優先区
三菱ふそう	商用車	タタルスタン共和国	KIPマスチェル工業団地	私営工業団地
三桜工業	自動車部品	サマーラ州	トリヤッチ経済特区	連邦経済特区
アツミテック	自動車部品	サマーラ州	トリヤッチ経済特区	連邦経済特区
ハイレックス	自動車部品	サマーラ州	トリヤッチ経済特区	連邦経済特区
日立建機	建設機械	トヴェリ州	ラスロヴォ工業団地	公営工業団地
いすゞ	商用車	ウリヤノフスク州	UAZ工業団地	私営工業団地
タカタ	自動車部品	ウリヤノフスク州	ザヴォルジエ工業団地	公営工業団地
ブリヂストン	乗用車用タイヤ	ウリヤノフスク州	ザヴォルジエ工業団地	公営工業団地
森精機	工作機械	ウリヤノフスク州	ザヴォルジエ工業団地	公営工業団地
日揮	温室野菜	ハバロフスク地方	アワンガルド工業団地	私営工業団地
コマツ	建設機械	ヤロスラヴリ州	ノヴォショルキ工業団地	公営工業団地
タケダ	医薬品	ヤロスラヴリ州	ノヴォショルキ工業団地	公営工業団地



ロシア工業団地協会は、ロシアにおける工場立地のための基盤整備と企業誘致の促進のため、ロシア内外の企業、中央と地方、政府と民間をつなぎ、協力を推進する役割を果たしている。

世界主要国の経済団体・機関

ロシアNIS貿易会(日本) 韓国貿易協会
 イタリア産業総連盟 ドイツ商工会議所
 ベルギー・ルクセンブルク商工会議所
 トルコ工業団地上級委員会 中国産業発展協会
 ロシア欧州ビジネス協会 在露ドイツ商工会議所
 モスクワ・ジャパクラブ その他

交流

ロシア連邦政府・政府機関

連邦経済発展省
 連邦工業商務省
 連邦極東開発省
 ロシア技術開発基金
 連邦企業城下町発展基金
 連邦工業発展基金
 株式会社「経済特区」
 極東投資誘致輸出促進機構

ロシアの様々な工場用地・生産施設

ロシア国内 約1,000か所

情報収集・分析



ロシア工業団地協会

理事派遣、補助・委託、提携
 政策対話・提言

協会メンバー(46地方、約130法人、89工業団地)

創設者

経済団体「実業ロシア」
 ADMパートナーシップ
 ノルドテクス
 コムストリン
 カルーガ州開発公社

地方政府・自治体・開発公社・経済特区

モスクワ市 モスクワ州 カルーガ州 ヤロスラヴリ州 ペンザ州 トゥーラ州
 スモレンスク州 オリョール州 リーペツク州 ウリヤノフスク州 バシキール共和
 国 タタルスタン共和国 モルドヴィヤ共和国 チュメニ州 スヴェルドロフスク州
 ハントィ・マンシスク自治管区 クルガン州 ノヴォシビルスク州 イルクーツク州
 トムスク州 スタヴロポリ地方 ダゲスタン共和国 カリーニングラード州

民間企業

工業団地管理会社
 不動産開発会社
 建設会社 設計会社
 エンジニアリング会社
 メーカー
 コンサルティング会社

ロシア工業団地協会の理事会メンバー（2018年3月7日現在）



Yu・ヤブロコフ
共同会長



M・パズニコフ
共同会長



D・ジュラフスキー
事務局長

■ 連邦極東開発省
第一副大臣 A・オシポフ

■ 連邦極東開発省
副大臣 S・カチャエフ

■ 連邦企業城下町発展基金
総裁 I・クリヴォゴフ

■ ロシア鉄道国際協力局
局長 I・コワーリ

■ ロシア技術開発基金
副総裁 A・ヴォロゴツキー

■ モスクワ州政府経済財政局
副局長 E・ジノヴィヨフ

■ ウリヤノフスク州開発公社
社長 S・ワーシン

■ ベルゴロド州産業用地開発会社
社長 A・ミナエフ

■ プロビジネスパーク管理会社
社長 D・レメゾフ

■ テクノポリス・ヒムグラード
社長 A・ギツザトゥリン

■ JLL 物流・産業用地部
部長 V・ホロポフ

■ KPIホールディング
会長 R・カラウロフ



2010年の創設以来、ロシア工業団地協会はロシアにおける工業団地の整備および企業の誘致に向け、積極的な取り組みを進めている。

交流・研修事業



モスクワにおける
ロシア工業団地年次国際
フォーラム「インロシア」の
開催(2017年11月)



ウィーンにてオーストリア連邦
経済会議所との共催で
セミナーを開催(2018年2月)

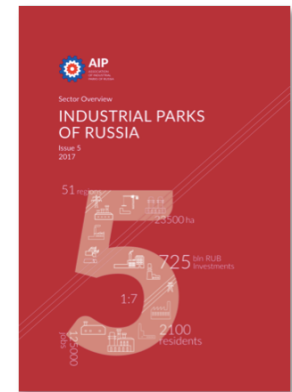


モスクワにて在露米国商業会
議所と共催でビジネスブレック
ファーストを開催
(2018年1月)

出版事業



「ロシア現地生産のための
投資ガイド」(2016年)



年刊「ロシア工業団地便覧」
(2017年)



「ロシアにおける工場設計・
建設のベストプラクティス」
(2017年)

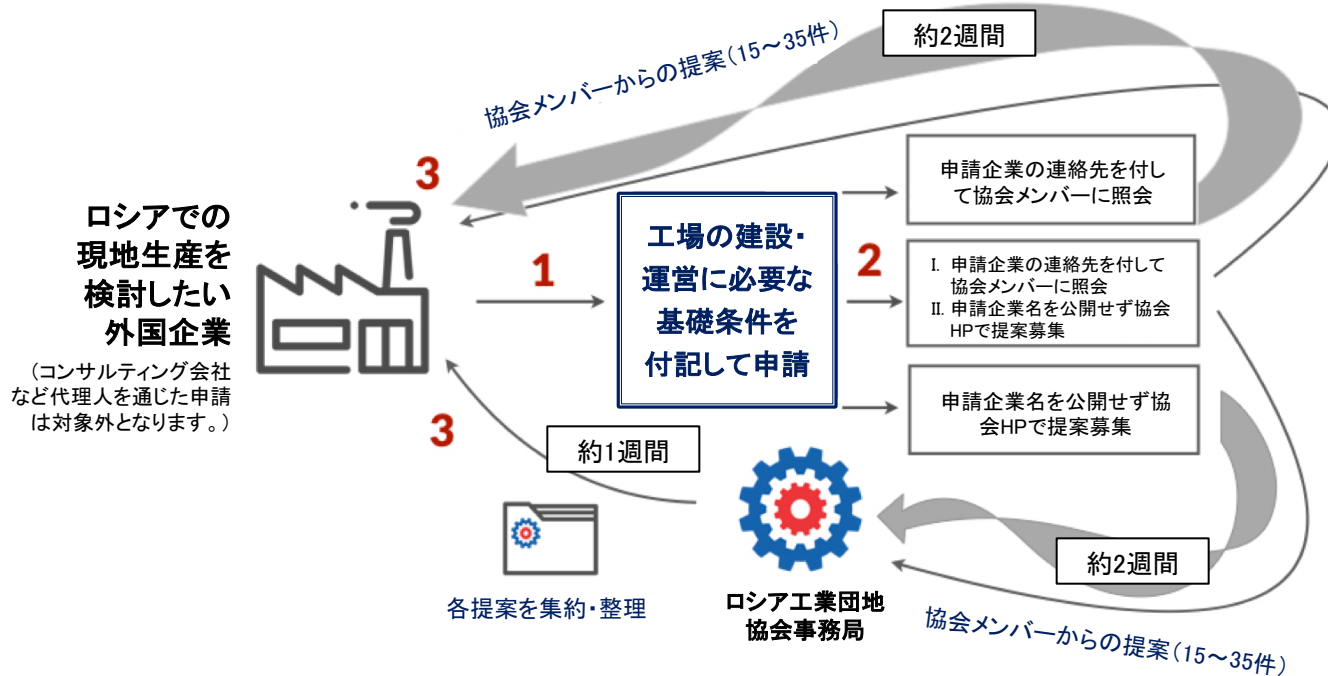


日本企業の円滑な対露進出のために ～ロシア工業団地協会のサポート内容





ロシア工業団地協会は、ロシアでの現地生産を検討される日本企業のため、各社の条件にできるだけ合致した適正な立地先を選別するためのご支援をいたします。



ご支援の手順

1. 将来の現地生産化に必要な用地・立地条件につきできるだけ具体的にご要望をお寄せ下さい。貴社の現地生産事業に必要な用地・立地条件がご不明な場合、申請書の記入方法等についてご相談に応じます。
2. 申請書による照会事項を工業団地協会メンバーである工業団地管理会社に送付します。また、貴社名を公表せず当協会サイトに照会事項に適した工業団地・工業用地の提案を広く募集することも可能です。一部の地方限定など、貴社のご関心に応じた提案収集も可能です。
3. 各工業団地からの提案は貴社に直接返信されるか、貴社名非公開の場合には協会事務局にて集約・整理のうえ貴社に提出いたします。

基本原則

透明なプロセス



公平性・客観性の保証



一地方に偏らずロシア全土を網羅



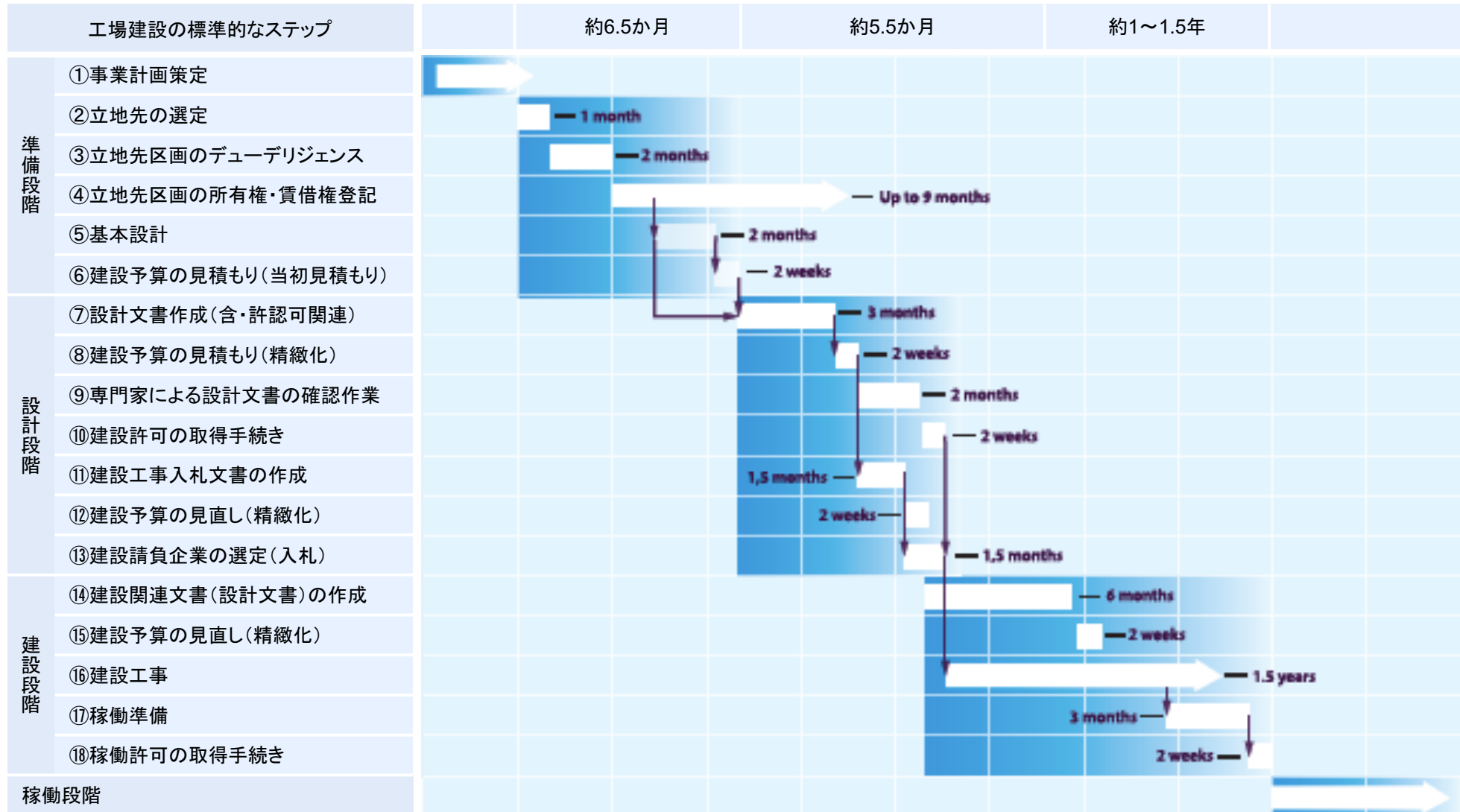
■ ロシア工業団地協会による本支援サービスは、特定の地方や企業の商業的利益を代表するものではなく、公益社団法人として公平・中立な立場で行うものであり、手数料もいたしません。

お申し込み先:

gr@indparks.ru (英語・露語)
ohashi@indparks.ru (日本語)



工業団地における標準的な工場建設プロセス： 工場新設の場合、ロシアでは立地先選定開始から稼働まで、基本的に2年かかる。





事業計画策定から工場の設計・建設、稼働開始までのプロセスにおける課題解決で ロシア工業団地協会の会員企業である専門機関が日本企業をご支援させていただきます。

課題例		支援	課題例		支援	課題例		支援	
準備段階	1. 市場調査	○	設計段階	19. 建設計画実行管理	○	設計段階	36. 排水条件調査	○	
	2. 立地先選定	○		20. 建設工程立案	○		37. 排水分析	○	
	3. 立地先技術・環境DD	○		21. 設備調達立案	○		38. 排水機構立案	○	
	4. 立地先法務DD	○		22. 排気機構立案	○		建設段階	54. 不正行為対策	○
	5. 既存建物DD・改装FS	○		22. 設計文書の確認	○			55. Lean建設工事	○
	6. 建設計画立案	○		23. 建設許認可手続き	○			56. 建設全般助言	○
	7. 政府優遇措置取得	○		24. 建設工事入札準備	○	57. 環境・衛生管理		○	
	8. FS作成(政府提出用)	○		25. 建設費用試算	○	58. 廃棄物処理		○	
	9. パートナー探し	○		26. 建設工事入札作業	○	59. 排水機構工事	○		
	10. 事業リスク分析	○		27. BREEM認証取得	○	稼働段階	60. 危険物登記手続き	○	
	11. ターンキー建設請負	○		28. LEED認証取得	○		61. 不動産登記手続き	○	
	12. 工場装備最適案立案	○		29. BIMによる設計作業	○		62. 不動産管理	○	
	13. 環境影響予備調査	○		30. GMP/NFPA準拠設計	○		63. 賃借条件分析	○	
設計段階	14. 基本設計文書作成	○	31. ヒト・モノのロジ企画	○	64. 稼働前技術検査		○		
	15. 測量	○	32. 設計レビュー	○	65. 生産プロセスチェック		○		
	16. 環境・廃棄物対策案	○	33. プロセス管理見直し	○	66. 在庫・調達体制評価		○		
	17. KM-P設計文書作成	○	34. 費用・技術見直し	○	67. 設備保守管理体制		○		
	18. 外国設計文書適正化	○	35. 技術設計	○	68. 部品・在庫管理体制		○		
							69. HAZOP/HAZID	○	
						70. 図面デジタル化	○		

ロシア工業団地協会は、みなさまのロシア進出のサポートでお役に立ちたいと願います。
また、ロシアの魅力ある企業立地の環境整備に向け、ぜひご協力のほどお願いいたします。



いつでもご連絡下さい！

ロシア工業団地協会
顧問（日本・アジア太平洋地区担当）

大橋 巖

117647 Moscow, Profsoyuznaya St. 125, Building 1, Russian Federation

電話: +7 915 182 33 50

Email ohashi@indparks.ru

本資料の製作者ならびに本資料上に発生している知的財産権の
所有者の事前の許可なく、本資料を第三者に開示することはご
遠慮願います。